

エフモル05-S

早強型でありながら機械吹付が可能

特 長

- 1. 施工可能時間** (※施工可能時間とは、ポンプ圧送可能時間をいう：自社基準)
60~90分 (作業環境温度15℃~5℃)
機械吹付可能
- 2. 養生時間短縮**
 - 環境温度5℃以上であれば、**材令8時間で圧縮強度5N/mm²以上**が確保される為、養生時間の短縮が可能です。
- 3. 経済性** **1/4程度のコスト削減**が期待出来ます。 ※現場状況によっては変動します。
- 4. 施工効率** **1/2程度の工期短縮**が期待出来ます。 ※現場状況によっては変動します。
- 5. 優れた付着性**
 - 優れた付着性能を有するため、**プライマー工程を省略**することが可能です。
- 6. 耐久性等**
 - 高炉スラグ微粉末を配合しながらも**早強性 (24時間で圧縮強度27N/mm²以上)**を持つ為、潜在水硬性を活用し優れた**耐久性 (化学抵抗性・耐塩害性・耐凍害性)**を持ち、**摩耗性に優れ、長期的に安定した強度を保持**します。

用 途

- ◆土木構造物 (橋梁、ダム、ボックスカルバート、トンネル覆道部、擁壁、橋梁など)
- ◆建築構造物 (コンクリート補修など)
- ◆港湾構造物 (護岸、防波堤など)

配合及び材料使用量 20kg/袋

配 合	粉体	20kg
	水	3.0~3.6 l
練上り量		11.2 l
積算密度		1.78
1m ³ 使用量		89袋
材 料 使 用 量 (kg/m ²)	塗りの厚別	
	10mm厚	17.8kg
	20mm厚	35.6kg
	30mm厚	53.4kg

性 能

試験項目	材令	エフモル05-S	
		5℃	15℃
圧縮強度 (N/mm ²) 試験方法 JIS A 1171	8時間	8.9	21.5
	1日	27.4	30.3
	3日	31.8	32.8
	7日	33.4	34.3
	28日	33.8	36.0
曲げ強度 (N/mm ²) 試験方法 JIS A 1171	3日	6.4	7.4
	7日	7.1	7.8
	28日	7.7	7.9
付着強度 (N/mm ²) 試験方法 建研式	1日	1.58	1.67
	2日	1.90	2.06
	3日	2.05	2.22
	7日	2.27	2.50
	28日	2.32	2.69

※本書に記載されたデータは、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。実際の現場結果を確実に保証するものではありません。 ※本書の記載事項は、新しい知見などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

施工手順

下地処理

- 清掃、脆弱部の除去、鉄筋防錆処理、ひび割れ処理、漏水処理
- 健全なコンクリート面を露出させ、粗面状態で余剰水のない湿潤面とした上で施工してください。

練混ぜ



モルタルミキサ

または



ハンドミキサ

で**3分以上**練混ぜる。

- 使用水量は、1袋当り 3.0~3.6L の範囲内です。
- 練混ぜ水は、水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- 袋単位で練混ぜてください。小分けして使用しないでください。
- 材料温度、現場温度などによって使用水量は範囲内で変化します。
- 必ず使用前に試し練りを行い、適切な水量を決定してください。
- プレミックス製品ですので、他のセメント、砂、混和剤などを加えないでください。

吹付・左官

- 1回当たりの施工厚：天井面：20mm程度 側壁面：35mm程度
- 吹付の場合、必ずセメントペーストをホース内に通してから材料を圧送してください。
- 吹付ホースを連結する場合、必ず同じ径のホースで連結してください。
- 吹付時、ノズル先からセメントノロが下方に多く飛ぶ場合、吹付空気圧を調整してください。
- 作業を中断する場合には、ポンプ内等に材料は残さず、使用器材は必ず洗浄してください。**

養生

- 風や直射日光、降雨、外気温の影響を避ける養生管理を行なってください。

◆使用上の注意

- ご使用前に、必ずカタログ及び施工要領書をお読みください。
- 吸湿性を有する粉末品ですので、セメントと同様に水に濡れないよう出来るだけ屋内で保管してください。屋外で保管する場合は、地面に直接置かず台座などを用いて湿気を避けるように保管してください。
- 一度開封したものは使い切るようにしてください。開封状態で保管したものを再度使用しないでください。
- 使用に際しては、保護具（防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋など）を着用してください。
- この材料は水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 目や口に入った場合または皮膚に付着した場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 5℃未満が考えられる場合は、凍害防止のため採暖養生等を行ってください。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行ってください。
- 廃棄する場合は都道府県の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
- 一度練った材料の練返しはしないでください。
- 作業を中断する場合には、ポンプ内等に材料は残さず、使用器材は必ず洗浄してください。**
- 環境温度および練り上がり温度が5℃~15℃の範囲で使用されることを想定しています。15℃を超える環境で使用した場合、急激に可使用時間が短くなりますので、事前に使用環境を確認してください。**

NET 20kg

(製造・販売元)

株式会社 エフモル工業 (南組グループ)

〒062-0052 北海道札幌市豊平区月寒東2条17丁目3番75号

TEL 011-595-7085 FAX 011-853-0220